



まずは、鳥羽小学校の校舎・施設・設備等についての現状を知ってください

## 鳥羽小学校の概要

鳥羽小学校は歴史が古く、明治6年11月20日に開校され、129年の歴史を綴っています。現在の校舎は昭和4年に鳥羽城跡の高台に建てられ、当時は県下でも数少ない鉄筋コンクリートのモダンな校舎でした。今は、築後73年という歴史を刻んでいます。

鳥羽城は、戦国時代の武将、九鬼嘉隆が築いた城です。当時から残る樹齢数百年を越える松や樺の樹木に囲まれた校庭を、現代の子どもたちが元気に走り回っています。

学校の周りは、東に風光明媚を誇る鳥羽湾、南は海岸沿いに埋め立てられた道路と橋を中心に新しい街が広がっています。西は旧城下町の呈をなし、縦横に連なる町並みと市役所、文化会館などの中心施設が続いています。北は鳥羽市の玄関口である鳥羽駅・鳥羽港を中心に旅館や土産物店、観光施設が建ち並んでいます。



さて、築後73年の現在の校舎は、これまでにさまざまな形で増築・修理・修繕等が重ねられてきています。その中で主なものを拾い挙げてみると、

- ・昭和29年8月31日 木造二階建て四教室一棟及び職員室一棟の増築(現在の西校舎)
- ・昭和37年3月10日 給食室の新築
- ・昭和37~39年 本館の大修理
- ・昭和48年11月20日 西校舎への渡り廊下の新設
- ・昭和56年8月 講堂の屋上の防水工事

などがあります。しかし、現在は、歴史と伝統・風格のある校舎とはいえ、全体的に校舎が老朽化している状況です。壁や天井のモルタルの剥落(中には鉄筋がむき出しになっている箇所もある)、教室の床や廊下の傷みも激しく、また、雨が降ると、講堂をはじめ三階の教室、一・二階廊下の雨漏りが激しく、いつも20をこえるバケツやたらいを受け皿としなければならぬ状況になっています。



昔の子どもたちに比べ、現在の子どもたちは体も大きくなっており、教室も狭くなってきています。教室も暗いし、風通しも悪く、夏は非常に暑く、冬は寒い教室で保健衛生上からみてもいい環境では



なく、学習するには十分な状況ではありません。さらに、子どもたちの数の減少により、空き教室が増えています。そのため、先生たちの工夫でさまざまな用途として活用していますが、使い勝手もよくありません。

立地条件として、バリアフリー化の世の中にあって、坂や階段・段差が多く、けがをしている人やお年寄りの方たちにとってたいへん不便であり不都合であります。安全管理の面においても、柵や手すり(内外)の老朽化はもちろん、配線による漏電の心配、耐震設備の不十分さなどが目につきます。

そんな中で学校生活を送っている未来を担う子どもたちのためにも、早期に学校建設を実現させてやりたいと願っています。



よっしゃ！  
それなら…

# 鳥羽小学校建設を みんなでき考えよう

## ●ボランティアで創る 鳥羽小建設実行委員会の思い

実行委員長 吉水 理裕

かねてより危険校舎として指定されていたことで、2000年2月に学校建設について歴代のPTA役員と町内会の役員とで話し合いがありました。その場で、建設運動は現役PTAが中心となって進めていってほしいという合意が成され、できた組織が「ボランティアで創る鳥羽小建設実行委員会」です。

小学校建設の提案をするにあたって、実行委員会では、どうせ考えるなら、一部のだけでなく、学校区の住民の方々の意見を取り入れた方がいいものができるだろうと考え、「地域のことは、地域で責任をもって考えよう」と、広く呼びかけることにしました。誰もが参加できるように「広報とば」に参加の案内を入れました。実行委員会だけで考えるものではなく、みんなに参加の機会を平等に提供して、その場でみんなが合意できることが大事だと考えたのです。会議の方法は、ワークショップという手法を使い、参加しやすいように工夫しました。何回かのワークショップを通じて参加者の意識を共有することができました。

今まで公共事業は住民の知らないうちに決まり、できてから使ってくださいと渡されることが多かったように思います。そうではなく、行政との協働で、より使う立場に立って使いやすいものを作ることが必要だと思いました。ワークショップ開催にあたり、たくさんの方に参加していただいたことに感謝します。

## ワークショップって何？

ワークショップは会議です

直訳すると「仕事場」とか「工房」という意味ですが、市民参加の現場などでは「参加者が、話し合ったり現場を見たりするなどの作業を通じて、前向きにお互いの考えや立場の違いを学びあひながら、提案などをまとめる手法であり、その集まり(場のこと)と言われています。つまり、みんなの意見を聞きながらまとめていく会議のかたちをいいます。

「ボランティアで創る鳥羽小学校建設実行委員会」では、2000年7月から、2002年12月まで全9回に渡り「鳥羽小学校建設をボランティアで考える会」を開催。様々な角度から鳥羽小学校建設を考え、形にしていくワークショップをすすめてきました。

## 開催日とプログラム

第1回 2000年7月16日/鳥羽小学校

●テーマ

「鳥羽小学校のいいところ、わるいところ」

第2回 2000年8月20日/鳥羽市民文化会館

●テーマ

「素敵なお鳥羽小学校を考えよう」

第3回 2000年10月27日/鳥羽市民文化会館

●テーマ

「これてなくちゃ鳥羽小じゃない」

第4回 2001年1月26日/鳥羽市民文化会館

●テーマ

ベスト3をそれぞれ個別に検討しよう

No.1

「住民と子ども達が良い関係で利用できる学校を考えよう」

No.2

「海に見える校舎を考えよう」

第5回 2001年6月11日/鳥羽市民文化会館

●テーマ

ベスト3をそれぞれ個別に検討しよう

No.3

「これを残さないと鳥羽小学校じゃない」

第6回 2001年11月23日/鳥羽市民文化会館

●テーマ

住民と学校が融合した先進学校の事例を知ろう

講演会「学校と地域のかろやかな融合」

第7回 2002年2月7日/鳥羽市民文化会館

●テーマ

「新校舎をがたごししよう」

第8回 2002年9月26日/鳥羽小学校

●テーマ

「学びよい学校」

第9回 2002年12月18日/鳥羽市役所

「市長との懇談会」

●のべ参加人数 500人

